



▲遠野の主幹産業のひとつ「畜産」

馬パラチフスの被害について

【質問】馬パラチフスの被害額と被害頭数は。

【答弁】馬の評価額によって違いがあるが、総額で2,800万円、44頭である。

【質問】馬産振興を奨めている市にとっては大きな影響があると思うが、今後の馬産振興はどの様に進めていくのか。風評被害もあると思われるし復活までに時間がかかると思うが。

【答弁】法定伝染病であるので蔓延させないようにする。他から入ってくる馬もいるので血液検査をして浄化してこれから行われる種付け業務など支障のないように清浄化していく。

【質問】44頭がいなくなるが、その補充の考えは。

【答弁】日本馬事協会、地方競馬協会など馬の関係機関からの情報も寄せられていて、その中で乗用馬については馬の配分もあり、それらを参考にして増やしたい。

畜産総合センター事業の整備について

【質問】畜産総合センター事業の整備について問う。

【答弁】仮称だが、畜産総合センターを立ち上げることになっている。昨年の9月から6回ほど関係団体で協議してきた。12月には4者の首長で協議し、旧種牛センターの場所に畜産農家の利便性を図りながら畜産振興を推進していくことになる。

【質問】これによって診療業務や種付け業務の一元化が図られるのか。

【答弁】畜産には防疫の問題や災害などがあり、全てのものに対応強化を図り進めていこうとするものである。

【質問】期待される施設と思うが4者のうち誰が運営するのか。

【答弁】今、協議中である。恐らく市の畜産担当がすることになると思うが決定したならば、お示しする。

地区センターの設置について

【質問】市村合併後、当時の地域の状況とはかなり違ってきている。旧遠野市では交通安全協会や防犯協会、地域教育協議会などが地区センターの指導のもとうまく機能している。3年も経過しているが、達首部、鱒沢への地区センター配置はどうなっているか。

【答弁】地区センターのあり方について、合併当時は宮守地区には1つということを進めてきたが、市民協働による管理運営等のあり方、市民センター運営協議会等の中で総合的な検討を行っている段階である。しかし、北上市などは、地区センターを全部廃止し、民間の指定管理者に管理させる動きなどもあり、様々検討を要すると考えている。総合支所の中に地区センターを設置し、専門の地区担当職員を配置しながら、今後のあり方を検討していく。

プロイハウスのビール醸造設備機器について

【質問】どのような経過で売払いになったのか。

【答弁】指定管理者と相談し内部検討を行い、ビール醸造釜については、今後使用する見込みがないという事から一般競争入札で売却うことになった。

【質問】施設のシンボルであったが何も無くなった。今後そのスペースの使用計画は。

【答弁】レプリカでビールの代替釜を設置し、雰囲気醸し出しながら誘客すると聞いている。

【質問】ビールを造らなければ、新たな内容で施設を整備して誘客を図るのが望ましいのではないか。

【答弁】ワサビエールについては、施設での醸造予定はないが、昨年業者から製造委託し販売はしている。宮守地区で東北一の生産を誇るワサビと地ビールは今後とも維持発展させていきたい。



▲遠野麦酒苑グランドオープンの様子